

# 新型コロナウイルス感染症における院内感染対策

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策委員会

- ・委員長:病院長
- ・委員:管理者、医師(院内感染担当)、事務部長、看護部長、薬剤科長他各部署長

## 2. 委員会の開催

- ・毎週月曜日及び緊急時

## 3. 委員会の活動内容

- ①県内、圏域内及び近隣市町村の感染者発生状況及び県の感染対策の把握
- ②感染対策マニュアルの更新、改訂
- ③PCR 検査状況(院内、R0)
- ④職員及び町内の発生状況
- ⑤ワクチンの接種状況
- ⑥その他

## 4. 健康管理

- ①出勤前の体温計測と自覚(風邪)症状の有無の確認
- ②発熱(37.5℃以上)若しくは風邪症状がある場合は、自宅待機とし内科へ受診する。

## 5. リスク管理

- ①職員は最新の情報収集や研修を受講し常に標準予防策を実施するとともに数多くのシミュレーションを行い常に緊張感をもって勤務しております。
- ②職員は県外(生活圏域を除く)への不要不急の往来および県外(生活圏域を除く)の方との接触は控えること、やむを得ず外出または接触する場合は、必要性を十分検討した上で必要最低限の移動・接触に留めること、など本人はもとより同居する家族にも行動制限の対象としております。
- ③面会の禁止など

## 6. 職員の院内感染防止対策と対応について

日南病院では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、病院の職員(大学からの非常勤医師を含む)は、出勤時の健康チェック(セルフチェック)で、発熱又は風邪症状がある場合は、出勤せずにまず PCR 検査を受け、結果が判明するまで待機としております。なお、結果が陰性であっても症状によっては、症状が治まるまで自宅待機となる場合もあります。外来医師の場合、急遽休診になる場合もございます。

また、同居の家族が接触者として PCR 検査の対象になった場合は、PCR 検査の結果が陰性とわかるまで自宅待機又は職員が PCR 検査を受け、陰性が確認されてから出勤しております。従って外来医師(非常勤医師を含む)の場合も、当日の朝に PCR 検査を受けて検査結果を待ってから診療を開始することになり、その場合開始時刻が遅れることとなりますのでご了承ください。なお、遅れる場合は放送等でお知らせいたします。

皆様に安心して診療を受けていただくための対策としておりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。